

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日清紡精機広島株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台1丁目3番30号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 (3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23(2011)年度を基準年度とし、平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
フロン類				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**生産数量(単位:千台)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
エネルギー 起源CO2	1.387	1.317	1.062											
非エネルギー 起源CO2														
メタン														
一酸化二窒素														
フロン類														
温室効果ガス 排出量総計	1.387	1.317	1.062											
エネルギー消費 原単位(原油換 算k1)	0.4852	0.4609	0.4084											
実績に対する 自己評価	温室効果ガス排出量総計は生産数量の減少が大きく起因している。エネルギー消費原単位においては、ベース消費にあたる空調の使用低減による電気、重油消費削減への取り組みが貢献していると考ええる。													

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	削減量：214 t-CO2 (削減率32.2%) 原単位：0.062 t-CO2/千台 (削減率61.4%)	冷暖房温度の適正管理 (夏28℃、冬18℃) 空調機の運転時間短縮
2	電気使用量の削減	削減量：761 t-CO2 (削減率68.2%) 原単位：0.062 t-CO2/千台 (削減率18.4%)	冷暖房温度の適正管理 (夏28℃、冬18℃) 空調機の運転時間短縮 (日勤のみ稼働) 休憩時間の消灯の設定 エアコンプレッサの運転負荷低減 エア圧力設定の適正化 生産設備の効率的な運用
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	空調使用低減による 重油、電気使用量削減		2 F 職場 (加工場、組立職場、事務所) を 1 F にレイアウト。空調エリアを集約し、 空調使用低減を図る。
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。